

(5) 地下タンク貯蔵所構造設備明細書（危省令様式第4のホ）

記入例

地下タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要		コンピューターソフトの開発 (事業所敷地面積 1, 340㎡)		
タンクの設置方法		タンク室 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 直埋設 ・ 漏れ防止		
タンクの種類		鋼製タンク・強化プラスチック製二重殻タンク・鋼製二重殻タンク・ <input checked="" type="checkbox"/> 鋼製強化プラスチック製二重殻タンク		
タンクの構造、設備	形状	横置円筒型	<input checked="" type="checkbox"/> 常 圧 ・ 加 圧 (kPa)	
	寸 法	内径2、100mm 胴長2、783mm 鏡出 407mm	容 量	10、000ℓ
	材質、板厚	材質 SS400、板厚 胴板 8mm 鏡板 9mm		
	外面の保護	鋼製強化プラスチック製二重殻タンク		
	危険物の漏れ検知設備又は漏れ防止構造の概要	漏洩検知装置 フロート式(30m以内検知)、本質安全防爆		
	通 気 管	種 別	数	内 径 又 は 作 動 圧
		無弁通気管		50mm kPa
	安 全 装 置	種 別	数	作 動 圧
		なし		kPa
可燃性蒸気回収設備	<input checked="" type="checkbox"/> (ベーパーリカバリー) ・ 無			
液量表示装置	遠隔油面計	引火防止装置	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	
タンク室又はタンク室以外の基礎、固定方法の概要	基礎は鉄筋コンクリート造、厚さ300mmとし、80×9mmの鋼製バンド、径19mmのアンカーボルトにて固定する。			
注入口の位置	遠方注入口	注入口付近の接地電極	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	
ポンプ設備の概要	ギアポンプ 1基 吐出量 40ℓ/分			
配 管	SGP			
電 気 設 備	電気設備の基準による			
消 火 設 備	第5種消火設備 粉末消火器 (B火災7単位) 2本			
工事請負者住所氏名	川越市〇〇町〇〇番地〇〇			
	川越工事(株) 担当 〇〇 〇〇 電話〇〇〇—〇〇〇—〇〇〇〇			

記入方法（地下タンク貯蔵所 構造設備明細書）

欄	記入方法
事業の概要	当該地下タンク貯蔵所の設置している事業所等の主たる事業の概要を記入すること。 なお、かっこ書きにより当該事業所の敷地面積を記入すること。
タンクの設置方法	該当するものに○を付けること、この場合「漏れ防止」とは、危省令第24条の2の5で定める措置を講じたものをいう。
タンクの種類	該当するものを記入すること。
タンクの構造、設備 「形状」	形状により次に掲げる区分等により記入すること。 a 横置円筒型、 b その他
タンクの構造、設備 「常圧・加圧 (kPa)」	タンクの貯蔵方法に該当するものに○を付け加圧の場合はその圧力を記入すること。なお、常圧とは、正圧または負圧で5キロパスカルを超えないものをいう。
タンクの構造、設備 「寸法」	次によること。 a 横置円筒型タンクは、内径、胴長（円筒部分の長さ）、鏡出及び全長を記入すること。 b その他のタンクは、縦、横及び高さを記入すること。
タンクの構造、設備 「容量」	タンクの最大許可容量を記入すること。
タンクの構造、設備 「材質、板厚」	タンクのそれぞれの部分の材質及び板厚を記入すること。 ただし、材質については、JIS記号でも認められるものであること。
タンクの構造、設備 「外面の保護」	危省令第24条に定めるものをいう。
タンクの構造、設備 「危険物の漏れ検知 設備又は漏れ防止構 造の概要」	危政令第13条第1項第13号及び危省令第24条の2の2中の設備の中で該当するものの種類等を記入すること。
タンクの構造、設備 「通気管」	タンクに設置された通気管の種別、設置数及び当該通気管の内径及び作動圧を記入すること。なお、内径については必ず記入すること。
タンクの構造、設備 「安全装置」	タンクが圧力タンクの場合、その種別、設置数、内径及び作動圧を記入すること。
タンクの構造、設備 「可燃性蒸気回収装 置」	可燃性蒸気回収装置がある場合は、有に○を付け、かっこ内にその設備の概要を記入すること。
タンクの構造、設備 「液量表示装置」	タンクに設置した液面計の形式等を記入すること。
タンクの構造、設備 「引火防止装置」	タンクに設置されている通気管に引火防止装置がある場合は、有に○を付けること。
タンク室又はタンク 室以外の基礎、固定 方法の概要	A タンク室の場合は、タンク室のふた、壁、底の構造、内部仕上り方法等を記入すること。 B 「漏れ防止」の場合は当該構造の概要を記入すること。
注入口の位置	タンクにドラム缶、移動タンク貯蔵所等（船舶又は他の許可施設を除く。）から受け入れる口がある場合、当該受入口の設置場所及び設置場所が防油堤の内側か外側かを記入すること。

欄	記入方法
注入口付近の接地電極	注入口付近にローリーアース等がある場合は、有に○を付けること。
ポンプ設備の概要	タンクの受払いを行っているポンプの種類及び最大吐出量、ポンプの原動機の種類及び防爆構造等を記入すること。
配管	配管又は附属配管の材質について、記入すること。 なお、この場合において、JIS 記号でも認められるものであること。 また、当該配管が地下埋設配管の場合は、配管外面の保護方法についても記入すること。
電気設備	配線、スイッチ、照明、電動機等の構造及び防爆ランク等を記入すること。ただし、総合的に「電気設備の基準により設置」と記入することも認められるものであること。
消火設備	危政令別表第5の消火設備の区分のうち、当該地下タンク貯蔵所に設置したものを記入すること。
工事請負者住所氏名	設置者等から工事を請け負った法人の名称及び住所並びに当該法人における当該工事の責任者の氏名、電話番号を記入すること。